

KÄRCHER

ケルヒャー業務用床洗浄機

BR/BD 40/25C

取扱説明書



この度はケルヒャー商品をお買いあげいただき誠にありがとうございました。
ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき安全に正しくご使用ください。
お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

BR/BD 40/25 C 201602

◆もくじ

1	使用上の注意	3~8
2	仕様	9~10
3	各部名称	11
4	準備	12~15
5	洗浄	16~19
6	作業を中断・終了する場合	20~22
7	ブラシ・パットの交換	23~26
8	お手入れ	27~29
9	トラブル対応	30~31
10	ユーザー保証・問合せ先	32
11	修理依頼書	33
12	補修部品	34

1 使用上の注意

◎ご使用前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容」を示しています。



の記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



の記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。



注意

洗浄は自己責任において行なうこと

万一洗浄対象物に変色、変形、破損などが生じた場合、もしくは正しく操作をせずにやけどやケガを負った場合、当社では一切の責任を負いません。

ご使用時の警告



本体、電源プラグに水をかけないこと
感電する場合があります。

ぬれた手で電源プラグを触らないこと
感電する場合があります。

子供には触らせないこと
けがをする場合があります。

改造禁止

火災、感電、けがの原因になります。

ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。

機能を十分に発揮しない場合が生じ、思わぬ事故のもとになることがあります。

危険物や火気のある場所で使用しないこと
火災の原因となります。

危険物を水の代わりに注入しないこと

灯油、ガソリン、オイル、ワックス、塗料などの
油性の液体を水の代わりに注入しないでください。
火災になるおそれがあります。

フッ化水素酸を含有する洗浄剤は使用しないこと
中毒・機器の損傷が生じます。

ご使用時の警告



汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスク等適切な防護具を身に着けること
汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。

修理はケルヒャーまたはケルヒャー認定技術者が行うこと
個人の修理は事故のもとになるおそれがあります。

ご使用時の注意点



給水温度は最大60℃

限度温度以上の水を補給しないでください。

テスト洗浄をおこなうこと

床の素材に適したセッティングで洗浄してください。

担当者以外作業をしないこと

誤動作によりけがや事故の発生する場合があります。

設定を変更する場合は安全な場所で行うこと

平坦な周りに人がいない場所で行ってください。

10%以上の勾配で使用しないこと

転倒する場合があります。

作業中に疲労感が生じた場合は作業を中止すること

体調を崩す場合があります。

純正洗浄剤を使用すること

十分な洗浄能力を発揮しない場合があります。

発泡洗浄剤は使用しないこと

汚水を回収できなくなります。

パット、ブラシの磨耗を確認すること

床を傷つける場合があります。

使用環境は 5℃～40℃で使用すること

凍結する場所では使用できません。

保管する場合は鍵を抜くこと

安全確保のため必ず鍵を抜いてください。

ブラシヘッドを流水で洗わないこと

駆動部分に水が入り駆動系統が損傷します。



バッテリーに関する警告



バッテリーを短絡させないこと
短絡させた場合、爆発する危険性があります。

接続ケーブルは確実に取り付けること
ゆるい場合短絡し、引火爆発の原因となります。

バッテリーに水をかけないこと
引火爆発の原因となります。

バッテリーに衝撃を与えないこと
内部充填液が衣服、皮膚、目に付着した場合、損傷
火傷、失明の原因になります。

バッテリーを倒した状態で使用しないこと
引火爆発の原因となります。

危険物のある場所で充電しないこと
引火爆発する場合があります。

軽作業時の充電はインジケータランプが点滅した
らおこなうこと
インジケータランプが黄色になる前に充電作業を
実施した場合、バッテリーが過充電となりバッテリ
ーの寿命を著しく低下させます。

充電は換気の良い場所でおこなうこと
屋内で充電する場合は換気設備の整った場所でおこ
なってください。充電中はバッテリーからガスが発
生し引火爆発を生じる恐れがあります。



バッテリーに関する注意



0～40度の曇り間で充電すること
充電場所は涼しい場所でおこなってください。

充電中は火気厳禁
充電中はバッテリーからガスが発生し引火爆発を生じる恐れがあります。

風とおしの良い場所で充電をおこなう
充電中はバッテリーからガスが発生し引火爆発を生じる恐れがあります。

充電中は接続プラグを抜かないこと
バッテリーの寿命を縮める場合があります。
充電中に接続プラグを抜かないでください。

作業終了後は毎日充電すること
完全放電状態で充電をおこなうとバッテリーの負担が増加し、充電回数が定価します。
75%放電時の充電時間は外気温度 30℃の場合、約 10～12 時間かかります。
充電は途中で止めないでください。

専用充電器を使用すること
専用充電器以外で充電した場合バッテリーの寿命を著しく低下させます。

長期保管時は充電すること
1ヶ月以上使用しない場合は毎月1度必ず充電をおこなってください。
バッテリーは使用しない状態で保管した場合、約3ヶ月で完全放電しバッテリーの寿命が著しく低下します。

2 仕様

BR 40/25 C

寸法 L×W×H	mm	800 x 575 x 830
ブラシヘッド 幅	mm	400
スクイジー 幅	mm	770
タンク容量 清水/汚水	L	25 / 25
給水温度 Max	°C	60
清掃能力	m ² /h	1,600
ブラシ回転数	rpm	1,350
面圧	g/cm ²	250
積載バッテリー	V	12V×2個
バキュームモーター	W	600
ブラシモーター	W	600
質量 バッテリー込み	Kg	119
使用環境	°C	5~40
騒音値 (EN60704-1)	d B (A)	70

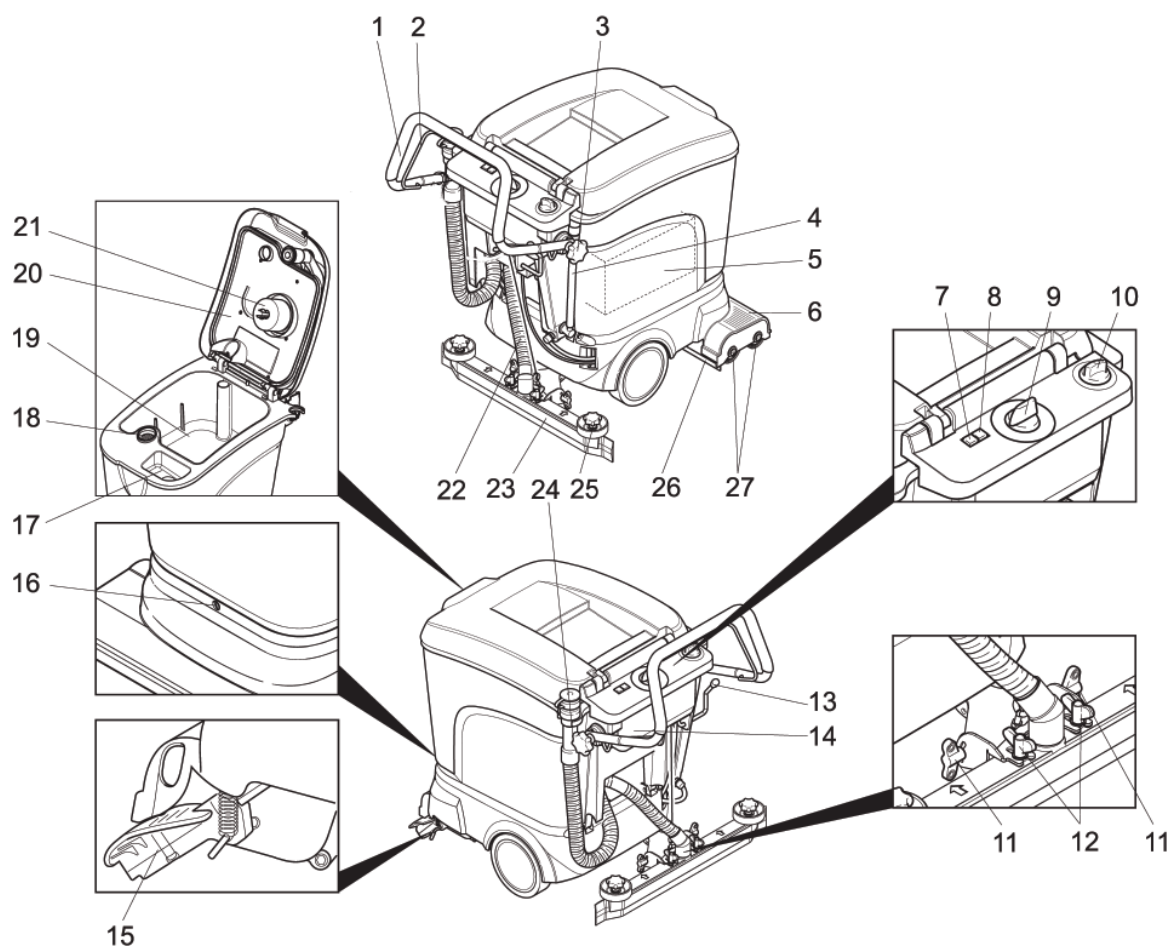
標準装備品 BR	
ブラシ	2本
スクイジー	1式
バッテリー	1式
専用充電器	1台

BD 40/25 C仕様

寸法 L×W×H	mm	870 x 575 x 830
ブラシヘッド 幅	mm	390
スクイジー 幅	mm	770
タンク容量 清水/汚水	L	25 / 25
給水温度 Max	°C	60
清掃能力	m ² /h	1,560
ブラシ回転数	rpm	140
面圧	g/cm ²	38
積載バッテリー	V	12V × 2個
バキュームモーター	W	600
ブラシモーター	W	600
質量 バッテリー込み	Kg	125
使用環境	°C	5~40
騒音値 (EN60704-1)	d B (A)	70

標準装備品 BD	
ブラシ	1枚
スクイジー	1式
バッテリー	1式
専用充電器	1台

3 各部名称



- | | | | |
|----|--------------------------|----|-----------------|
| 1 | ハンドル | 15 | キャスター |
| 2 | ブラシレバースイッチ | 16 | タンク固定ねじ |
| 3 | ハンドル調整つまみ | 17 | 洗浄水タンク注水口 |
| 4 | 洗浄水レベル確認・排水ホース | 18 | 吸引口フィルター |
| 5 | バッテリー | 19 | 汚水タンク |
| 6 | ブラシヘッド | 20 | タンクカバー |
| 7 | バッテリーインジケータ | 21 | フロート |
| 8 | ブラシインジケータ | 22 | 吸引ホース |
| 9 | 洗浄モード選択ノブ | 23 | スクイジー |
| 10 | 洗浄水調節つまみ | 24 | 排水ホース（汚水用） |
| 11 | ナット（スクイジー傾斜調節用） | 25 | つまみ（スクイジーゴム留め用） |
| 12 | ナット（スクイジー固定用） | 26 | スプラッシュガード |
| 13 | レバー（スクイジー昇降用） | 27 | ローラーブラシ（BR） |
| 14 | 基板モジュール、ヒューズ
（操作パネル内） | | ディスクブラシ（BD） |

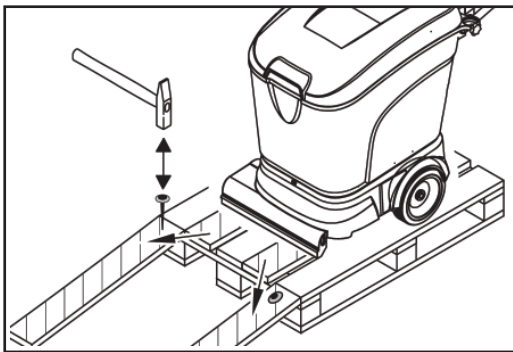
* 挿絵はBRタイプ

4 準備



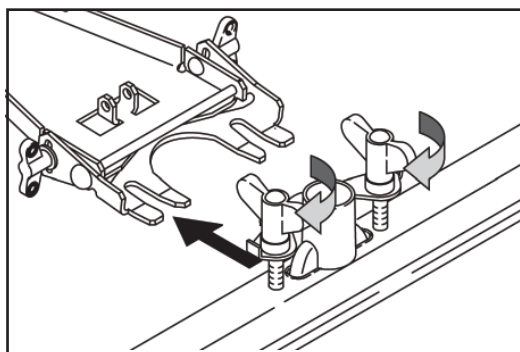
ケガをしないように作業用手袋を着用すること

パレットから本体を移動



梱包材側面にある板で傾斜路を造り、パレットの前に設置します。
傾斜路を釘で固定し、短い余り板を板の下に重ねて板を支えます。
タイヤの前後にある留め木を取除きます。
本体を押しゆっくりと前進させながらスロープからおろします。

スクイジの取付



- スクイジをはめ込みます。この際に本体側取付金具が、ナット部の金具の下になるようにしてください。
- 2個のナットを回し、スクイジが斜めにならないように取付け、しっかりと締めてください。
- サクションホースを接続してください。

BR用ローラーブラシの取付



本体前方を上げ、ブラシをブラシヘッド奥のシャフトに差し込み、ブラシを押し込みながらプレートの開口部にはめ込んでください。



前のブラシも同様にはめ込んでください。



両方のブラシが正しくはめ込まれていることを確認してください。



ブラシの取付はスイッチを入れる前に行なうこと
ローラーブラシ、ディスクブラシの選択を間違えた場合床材を傷める
場合があります。作業前に必ずテストを実施してください。
ブラシヘッドを流水（水道水）で洗わないこと
ブラシ駆動部分が損傷します。

BD用ディスクブラシの取付



ブラシの面圧調整ダイヤルは、「-」方向に止まるまで回してください。

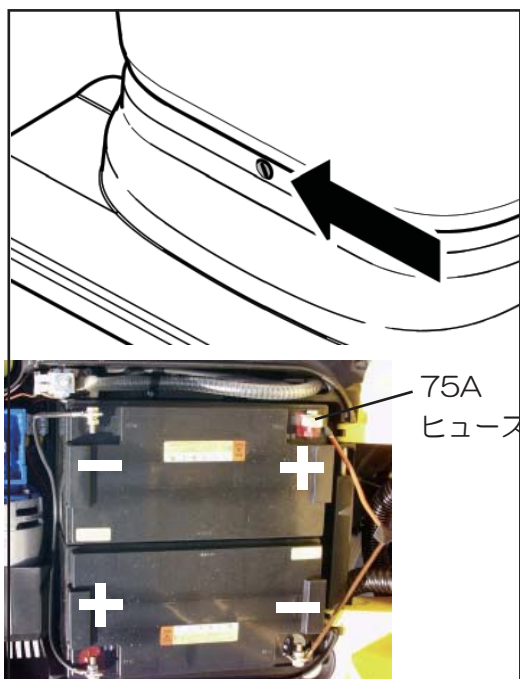


本体前方を上げ、ディスクブラシをフランジ下に挿入します。



ディスクブラシを水平に持ち上げフランジに差込み反時計回りに約 45° 回して取付けてください。

バッテリーの確認



タンクの水を全て出しきってください。水が残っている場合、タンクを上げた際にこぼれます。左図矢印の位置にあるねじを緩めタンクを後方に持ち上げてください。

バッテリーが本体（シャーシ部）に取付けられています。

接続ケーブルに傷や損傷がないことを確認しバッテリーの後部が緩んでいないことを確かめてください。



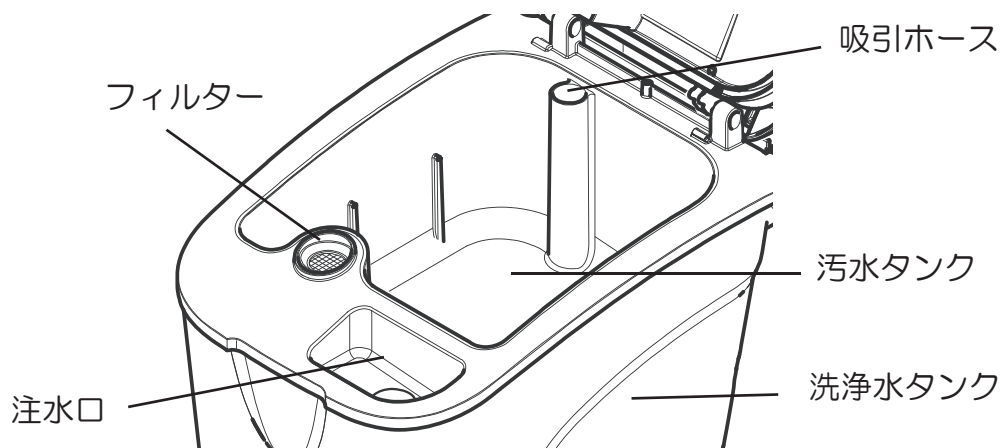
バッテリーの端子極を間違えないこと

接続ケーブルを使用されていないバッテリー端子に固定します。

タンクを降ろし、ねじで固定します。

タンク内部

■本機のタンクは2重タンク構造です。汚水タンクの下が洗浄水タンクとなっています。



タンクカバーを開けてください。

タンクカバーの裏面のパッキンに損傷がある場合は交換してください。

汚水タンクに汚水が残っている場合は捨ててください。

フィルターにごみが絡み付いている場合は取り除いてください。

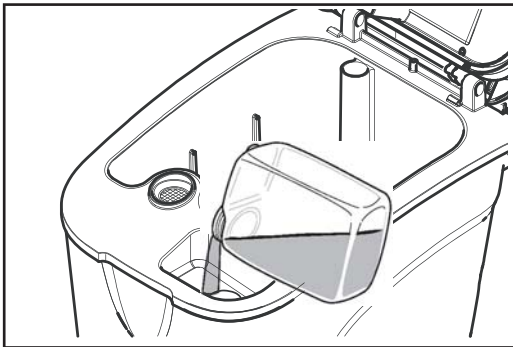
注入水の温度は最高で60℃です。

（注意）

泥水、砂が混入している水は使えません！ 汚れのない水道水をご使用ください。

5 洗淨

洗淨水の準備



タンクカバーを開けます。
タンクの最大目盛より 1 ～ 2cm 少なめに水道水を入れます。
(給水温度は最高で 60℃ までです。)
洗淨剤を入れます。
タンクカバーを閉じます。
消泡材を汚水タンクに適量入れる事も可能です。

キャスターを上げる



ハンドルを押し下げ、本体の前を浮かせ、キャスターを足で後ろに引き上げましょう。



ブラシが床に接し、洗淨を行なうことができます。

洗淨水の調節



床面の汚れ度合いに応じて、洗淨水調節つまみで洗淨水の量を調節します。

最初は少なく、洗淨状態を確認しながら徐々に多くします。

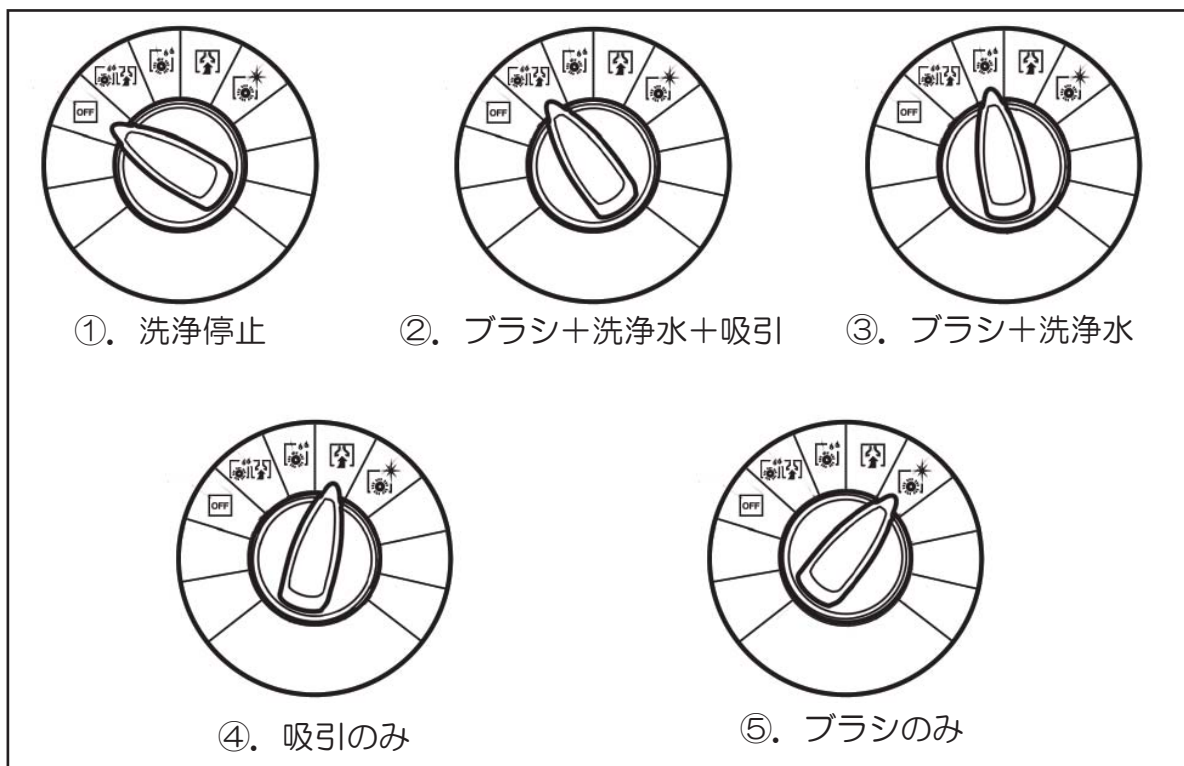
洗浄モードの選択



洗浄モード選択ノブで、用途に合った洗浄モードを選択します。

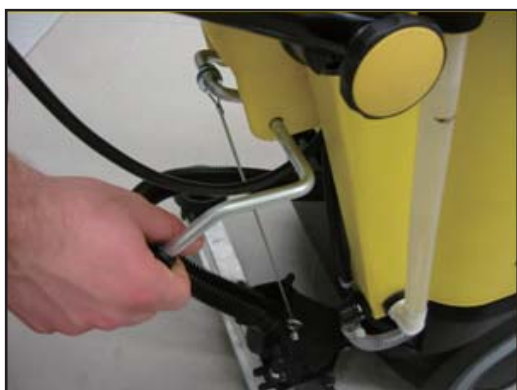
洗浄モードについては、以下の洗浄モード一覧を参考にしてください。

<洗浄モード一覧>



モード	ブラシスイッチ	ブラシ	洗浄剤	吸引
①	ON	×	×	×
	OFF	×	×	×
②	ON	●	●	●
	OFF	×	×	●
③	ON	●	●	×
	OFF	×	×	×
④	ON	×	×	●
	OFF	×	×	●
⑤	ON	●	×	×
	OFF	×	×	×

スクイジの操作



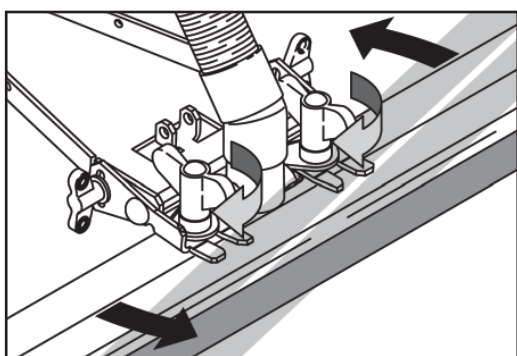
吸引を行なう場合には、スクイジを降ろしてください。

スクイジ昇降レバーを降ろしてください。
スクイジが下がり、床の水を取り除きます。



タイル床を清掃する際には、スクイジを調整して、タイルの目地の割れ目に当たらないように角度を調節してください。

<スクイジの角度調整>



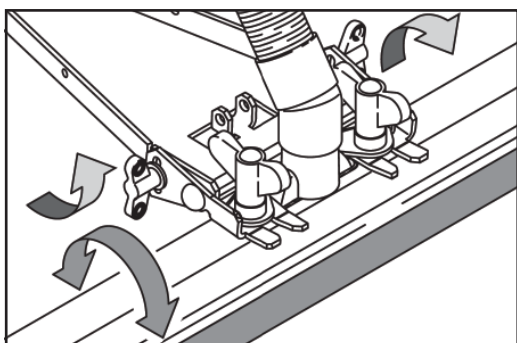
左右の角度のつけ方

溝のあるタイル床などには、左右に角度をつけるとより効果的な作業が可能です。

固定ナットをゆるめてください。

スクイジを適切な角度に動かしてください。

固定ナットを締め直してください。



前後の角度のつけ方

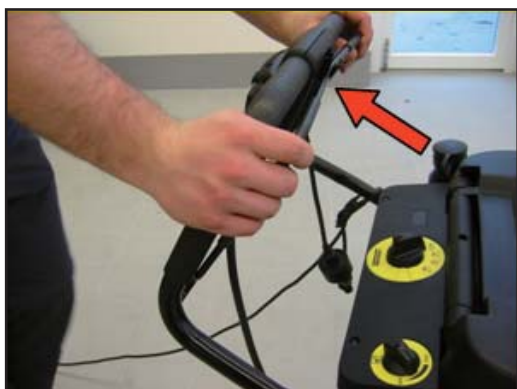
掃き取りや吸い取り残しが多い場合は、前後に角度をつけるとより効果的な作業が可能です。

スクイジ傾斜調節用ナットを緩めてください。

スクイジゴムを適切な角度に傾けてください。

ナットを締め直してください。

洗浄の開始



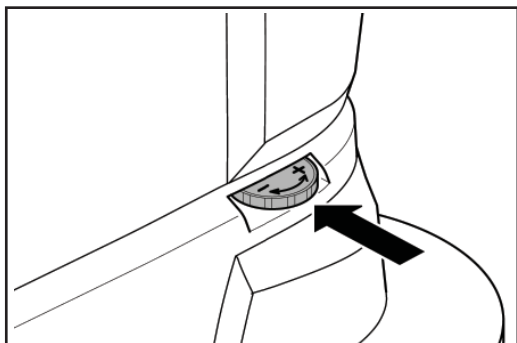
ハンドルを握り、ブラシレバースイッチを手前に引くと、選択した洗浄モードがスタートします。

ディスクブラシの面圧調整



注意

同じ位置での長時間の洗浄は行わないこと
床面が破損します。



ブラシの面圧調整は必ずキャスターを前に出し
ブラシが床に接触していない状態で行ってくだ
さい。

＜面圧を下げる場合＞

左図のダイヤルを「-」方向に回してください。

＜面圧を上げる場合＞

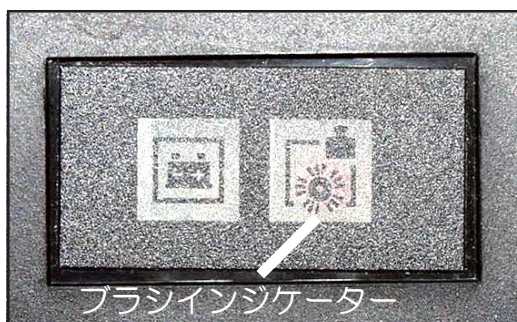
左図のダイヤルを「+」方向に回してください。



ブラシの面圧は一気に上げず、適正な面圧が得られるまで低い方からゆっく
りと上げること

面圧を正しく設定することで、バッテリーの浪費とブラシの磨耗を防ぎます。
機械が止まったり負担をかけ過ぎたりした場合には、ブラシインジケータ
ーが点灯します。

ブラシインジケータ



ブラシの負荷が強すぎる場合赤く点灯します。

インジケータが点灯した場合

洗浄剤の量を多くしたり、ブラシを柔らかい物
に交換してください。

6 作業を中断・終了する場合

洗浄水を止める



洗浄水調節つまみを「MIN」に合わせ、洗浄水を止めてください。

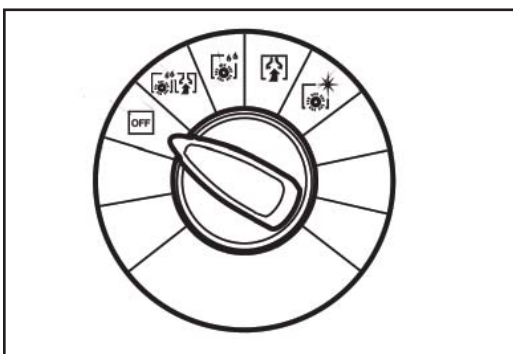
1～2 m前進しながら汚水を吸い取ってください。

スクイジーを上げる



スクイジー昇降レバーを引き上げ、スクイジーを床から離します。

洗浄モードを「OFF」にする



洗浄モード選択ノブを「OFF」に合わせ、洗浄を停止してください。

吸引モーターは、スクイジーと吸引ホースに残った汚水を完全に吸取るために約10秒後に自動停止します。

キャスターを降ろす ・ （終了する場合）

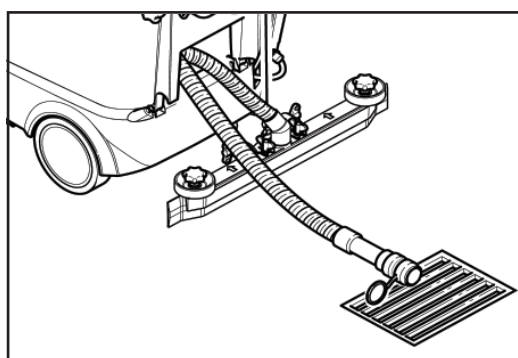


ハンドルを押し下げ、本体の前を浮かせ、キャスターを足で前に押し出します。



キャスターが前に降り、ブラシが床から離れます。

汚水を排水 （終了する場合）



排水ホースを排水溝に汚水が流れるように設置してください。

排水ホースの先のカバーを開け汚水を排水してください。ホースの先端を押して排水の流量を調節しながら、汚水を排水してください。



汚水の処理については、各地方自治体の規定に沿って行なうこと

洗浄水の排水（終了する場合）



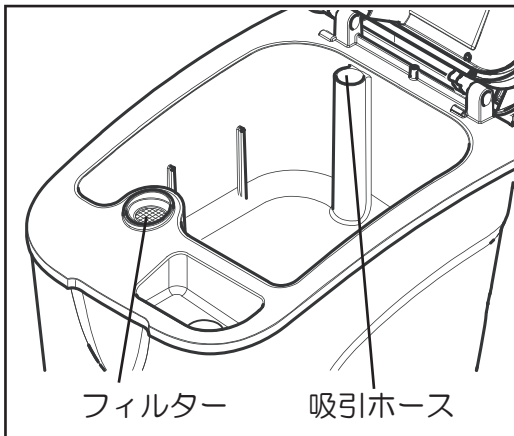
洗浄水タンクを空にする際には、洗浄水用排水ホース先端の取付け部を外してください。

排水ホースの根元を回し、ホースをゆっくり傾け、排水してください。

ホースを取り外す際や傾ける際には、水が飛び散らないようにゆっくり行ってください。

フィルター・汚水タンク・吸引ホースの洗浄

（終了する場合）



タンクカバーを開け、フィルターを取り外し、ゴミを取り除いて元の状態に戻してください。

汚水タンク内部が汚れている場合は水道水でタンク内部を洗浄後、乾かしてください。

吸引ホースの中も水道水ですすいでください。



汚水タンクを汚れたまま放置しないこと

悪臭が発生する場合があります。

タンク内部はいつもきれいな状態で保管してください。

7 ブラシ・パットの交換

BR用ローラーブラシの交換



<ブラシの取り外し方>

本体前方を持ち上げ、ブラシの端部を指で押しながらプレートの開口部から外してください。



<ブラシの取付け方>

本体前方を持ち上げ、ブラシの端部をブラシヘッド奥のシャフトに差し込み、ブラシを押し込みながらプレートの開口部にはめ込んでください。



前のブラシも同様にはめ込んでください。



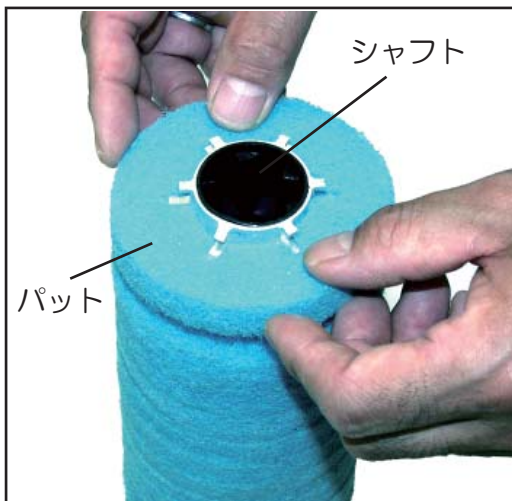
両方のブラシが正しくはめ込まれていることを確認してください。



注意

ブラシヘッドを流水（水道水）で洗わないこと
駆動部分に水が入り駆動系統が損傷します。

BR用ローラーパットの組付け (オプション)



＜ローラーパットの組立て方＞

用意する部品

ローラーシャフト 2本

ローラーパット 3組

ローラーシャフトの凹凸に合わせて、パットを1枚ずつ挿入してください。

パットの表面に凸凹が出来ないように馴染ませながら挿入をしてください。



パットを25枚挿入した後

リングをシャフトの凹凸に合わせてはめ込みます。



パットを押し下げながら、リングを回転させて固定します。

リングが遊ばないようにパットを少し持ち上げます。

＜パットの取外し方＞

組立て方の逆の手順で、パットを押し下げながらリングを回転させ外します。

パットを抜き取ります。

※ ローラーパットの本体への取付け及び取外しは、ローラーブラシの手順と同様に行なってください。

BD 用ディスクブラシの交換



<ディスクブラシの取外し方>

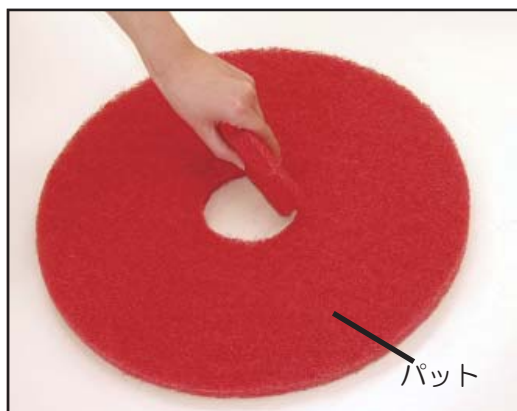
本体前方を上げ、ディスクブラシを時計回りに約 45° 回して取外してください。



<ディスクブラシの取付け方>

本体前方を持ち上げます。
ディスクブラシを水平に持ち上げフランジに差込み反時計回りに約 45° 回して取付けてください。

BD用ディスクパットの交換（オプション）



＜ディスクパットの組立て方＞
切り込みが入っているパットの中心を取ります。



パットを取付ディスクの凹凸面に乗せます。



取付ディスクの中心にあるフックを指で降ろし、
パットを挟みます。



同様に3個のフックでパットを固定します。

※ディスクパットの本体への取付け及び取外しは、
ディスクブラシの手順で行なってください。

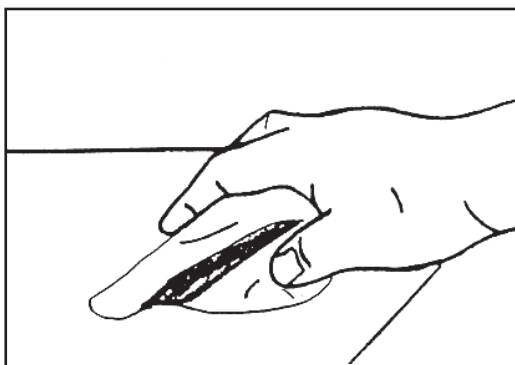
8 お手入れ



注意

ブラシヘッドを流水（水道水）で洗わないこと
駆動部分に水が入り駆動系統が損傷します。

本体のお手入れ



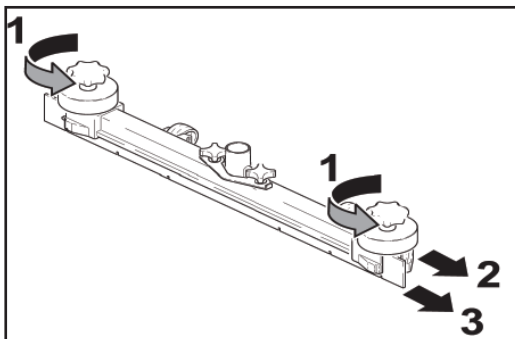
本体のお手入れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布をかたく絞って拭いてください。その後乾いた柔らかい布で洗剤が残らないように拭き取ってください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、殺虫剤、調髪用スプレー等をかけないでください。破損、変質の原因となります。

スクイジーのお手入れ

作業終了後は吸引ホースを取り外し、水洗いしてください。

スクイジーを取り付けプレートから取り外し、スクイジーゴムが損傷していたり 摩滅していないか確認し、問題がある場合は交換してください。



＜スクイジーゴムの取り外し方＞

1. スクイジー両端のつまみを外してください。
2. スクイジープロテクター（プラスチック製）を取り外してください。
3. スクイジーゴムをスクイジーから引き抜いてください。

スクイジーゴムは上下両面が使用できます。

既に両面を使用している場合には新しいものと交換してください。

＜スクイジーゴムの取付け方＞

スクイジーのスクイジーゴム挿入口のゴミを取り除いてください。

スクイジーゴムの挿入部位を石鹼水に浸し、滑りを良くした状態でスクイジーの溝に取り付けてください。

プロテクター（プラスチック製）を両側に取り付けてください。

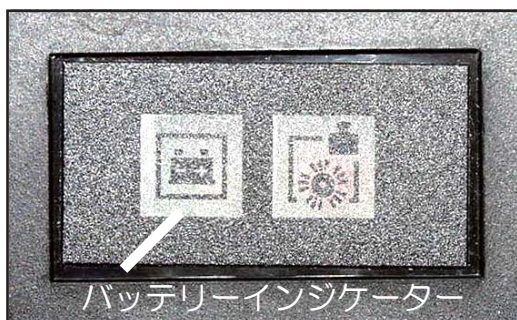
スクイジー両端のつまみで締め付けてください。

取り付けプレートにスクイジーを固定してください。

この際に取付金具が、ナットの金具の下になるようにしてください。

2個のナットを回し、しっかりと締めてください。

インジケータ



バッテリーインジケータ

バッテリーの残量を確認することができます。

緑：100%～40%

黄色：40%～20%（充電を行なってください）

赤（点滅）：20～0%

赤（点灯）：残量なし

バッテリーインジケータが黄色に点灯したら、充電を行なってください。

バッテリーの充電



本体からプラグを抜いてください。



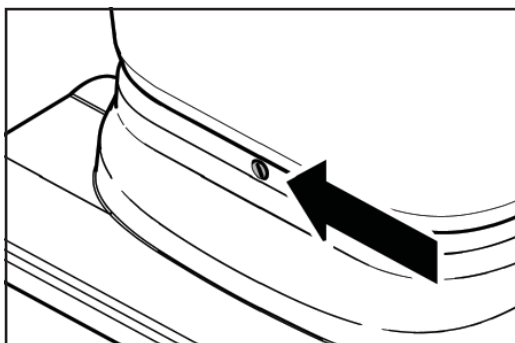
本体側プラグと充電器側プラグをつなぎます。
充電器の電源ケーブルをコンセントに差した後、
充電器のスイッチを入れます。
約 10～12 時間で充電が完了します。



注意

本体側プラグと充電器側プラグをつなぐ際及び抜く際には、充電器のスイッチを必ず OFF の状態で行なってください。

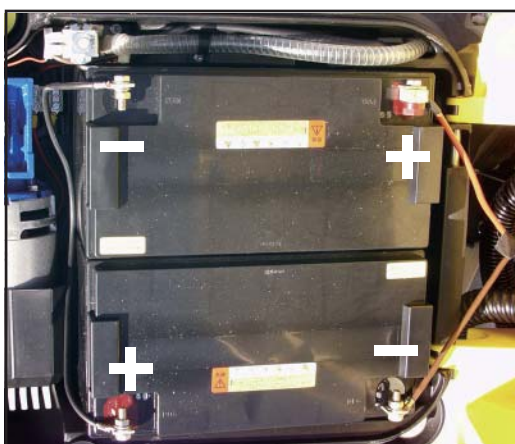
バッテリーの交換



本体前方にあるねじを外し、タンクを持ち上げます。

汚水タンク、清水タンクは空にした後にタンクを持ち上げてください。

水が入っている状態で持ち上げた場合、水が漏れ出します。



交換もしくは取外す場合は、バッテリー端子の+、一極を正しく接続してください。

ハンドルの折りたたみ



ハンドル調節つまみを緩め、ハンドルを上方に折りたたむことができます。

(逆に折りたたむことはできません。)

保管について

- 保管前に必ずお手入れをしてください。
- 必ず屋内のホコリのかからない凍結しない場所に保管してください。
- キャスターは必ず前に出し、ブラシを床面から離して保管してください。

9 トラブル対応

トラブル	原因	対策
起動しない	バッテリー電圧低下	充電を行なう
	バッテリー未接続	コネクターをつなぐ
	バッテリーケーブル損傷	交換する
	バッテリーケーブル腐食	交換する
	非常停止スイッチ作動	解除する
	ヒューズが切れている	交換する
吸引が悪い	汚水タンクが満水	汚水を廃棄
	汚水タンクに泡が発生	洗浄剤を替える
	スクイジーの設定が悪い	調整する
	スクイジーゴムの磨耗	交換する
	タンクカバーのシール不良	シールを清掃
	ホースキャップの外れ	キャップをする
	吸引ホースのつまり	ホースの異物を取り去る
	吸引ホースの取り回し不良	取り回しを確認
	吸引ホースの破れ	交換する
	フィルターの詰まり	ボールが動くよう清掃

トラブル	原因	対策
バッテリーインジケータ赤	バッテリー電圧低下	充電をおこなう
汚れが落ちない	フロートが固着	フィルターを清掃する
	設定モードが悪い	清掃モードを変更
	ブラシが磨耗	交換
	ブラシにゴミが絡む	ゴミを取り除く
	洗浄剤の選定が悪い	洗浄剤を変える
	ブラシの選定が悪い	ブラシの硬さを替える
洗浄剤が出ない	洗浄水タンクが空	洗浄水を補給する
	フィルター詰まり	ゴミを取り除く
	手動バルブが閉まっている	バルブを開ける
	電磁バルブの固着	修理を依頼する
	ホースがつぶれている	修理を依頼する
ブラシが回らない	バッテリー電圧低下	充電をおこなう
	設定モードが悪い	設定を変える
	プログラムスイッチ損傷	交換
	ブラシが磨耗	ブラシを交換する
	ブラシにゴミが絡む	ゴミを取り除く

10 ユーザー保証・問い合わせ先

ユーザー登録をされた場合のみ保証が適用されます。
保証規定およびユーザー登録方法は同梱の保証書をご確認ください。

<サービスフロント>

業務用製品の故障、修理についてのお問い合わせは、
ケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。

受付時間：月～金 AM9：00～PM5：00
(祝祭日、当社休日を除く)

TEL：0570-78-3140

FAX：022-345-0096

製品に関するお問い合わせはお近くの営業拠点までご連絡ください。

ケルヒャー ジャパン株式会社

本社：宮城県黒川郡大和町松坂平3丁目2番 TEL：022-344-3140

営業拠点：弊社ホームページでご確認をお願いします。

ホームページ：<http://www.kaercher.com/jp>

1 1 修理依頼書

修理を依頼する際は、この「修理依頼書」に故障状況などをご記入いただき、サービスフロントへFAX送信をお願いします。

正確な修理を迅速に遂行するために非常に大切な情報となりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

修理依頼日： 年 月 日

修理依頼書

BR 40/25

BD 40/25

SN. _____

※シリアル番号は機械の外側に貼られている銀色のラベルに記載されています。

ご使用者様 氏名

ご連絡先 TEL :

ファックス :

1) 購入日 年 月 2) 購入先 _____

2) 使用頻度 ※当てはまる番号に印をつけ、日数を記入してください。

①毎日 ②週__日 ③月__日 ④年__日

3) 1回の作業時間 _____時間

4) 延長コードの使用 ない / ある _____m

5) 作業場所 _____

6) 返送先住所： _____

※状況をなるべく詳しく説明してください。

12 補修部品

